

# 「カードスタンド作り研修」プログラム

国立江田島青少年交流の家

## 1 活動内容

- 文字や模様などのデザインを考える作業から、研磨，塗装，ウッドバーニング（\*）までの創作活動をする。 \*ウッドバーニングとは，木を焦がして文字や模様を描くこと
- 交流の家の職員から基本的な知識や実技について学ぶ。

## 2 活動のねらい

- 基礎的な木工の技術を習得するとともに，個々の持っている表現力や発想力を高める。
- 思い出の作品を最後まで作り遂げた時の成就感を味わう。

## 3 研修対象者

- 小学生（3年生）以上とする。
- ただし，保護者又は責任のもてる引率者と組んで活動する場合はこの限りではない。

## 4 研修人数

- 最大 40 人（海洋クラフト室で実施）

## 5 実施時期，研修期間，研修場所

- (1) 実施時期 通年
- (2) 研修時間 午前 9:00～11:30  
午後 13:30～16:00
- (3) 研修場所 海洋クラフト室（海洋研修館 1F）



## 6 準備物

- (1) 個人：カードスタンドセット\*（角材と紙やすり）
  - 角材（50×90×40 mm）
  - 紙やすり（＃120・240・400 各1枚）
  - \*研修 10 日前までに予約：ボランティア棟 1F 売店 イシダスポーツ 090-6417-9042
  - 布（オリーブオイル・水性オイルステイン拭取り用）
- (2) 交流の家：ウッドバーニングペン，焼印，ドライヤー，延長コード，新聞紙  
塗装用筆・皿（紙コップ），のこぎり，塗料（オリーブオイル・水性オイルステイン）

## 7 指導・安全管理

- (1) 研修時は，「カードスタンド作り研修」プログラムをもとに，団体がカードスタンドの指導・安

全管理を行う。

(2) 団体は、次の指導者を配置する。(小規模の団体は担当を兼ねられる)

- ①統括責任者(全体の総括, 指導)・・・1名
- ②指導担当者(用具の準備, 後始末の指示)・・・1名以上
- ③救護担当者(健康観察, 応急処置)・・・1名以上

(3) 事故発生時の処置

- ①統括責任者は事故の状況を把握し、交流の家に携帯電話で連絡を行う。

## 8 展開

(1) 「カードスタンド作り研修実施届」(以下「実施届」)の提出

実施届に必要な事項を記入し、総括責任者が研修実施前までに交流の家へ提出する。

※当交流の家ホームページからダウンロード可能

(2) 「カードスタンドセット(350円)」の予約

交流の家ホームページより「FAX注文書」のダウンロード可能

研修1か月前までにボランティア棟1F売店 インダスポーツ(090-6417-9042)へFAX(0823-44-1137)で予約する。注文受付後、売店は確認の電話をする。

(3) 事前打合せ

職員と団体の引率者(指導担当者)が、実施届の確認をし、「カードスタンド作り研修」プログラムをもとに、研修に必要な物品や実施方法等の打合せをする。

(4) 実施前

①団体の引率者(指導担当者)は、交流の家から海洋クラフト室の鍵を受け取り、クラフト室の棚から必要数の焼印、のこぎり、ウッドバーニングペン、塗筆・紙コップ、ドライヤー、延長コードを運ぶ。

②使用可能なコンセント差込口を確認し、焼印、ウッドバーニングペン等の機材をセットする。

(5) 事前指導

指導担当者は、次のことを指導する。

- ①ねらいを確認する。
- ②カードスタンド作りの材料を配布し、物品を確認する。
- ③制作手順を説明する。
- ④安全対策・環境への留意点についての指導を行う。

- ・加熱中のウッドバーニングペン、焼印は大変熱くなるので、火傷に注意する。焼印は必ず皮手袋を着用して、指導担当者立会いの下行う。
- ・刃物(のこぎり)の取り扱いには十分に注意する。
- ・床や机などをオイルステインなどで汚さないようにする。

(6) 制作手順

- ①万力で木材を固定し、のこぎりで溝を入れる。(上部の前面側から約2cmのライン)
- ②紙やすりで角・辺、表面を研磨する。(＃120で粗く削り、＃240で表面を平らにし、＃400でツルツルにする。

上部を上から見た図



- ③筆でオイルステインまたはオリーブオイルを塗る。(余分な塗料は布でふき取る。乾きが遅い場合はドライヤーを使用する。)
- ④ウッドバーニングペンで文字や模様をつける。(必要なら鉛筆等で下書きをする。)
- ⑤カッターまたはホーシーの焼印を入れたい場合は、引率指導者に申し出て、指導担当者立会いの下、皮手袋を着用して焼印を入れる。

#### (7) 研修実施後

- ①使用した焼印、のこぎり、ウッドバーニングペン、塗筆、ドライヤー、延長コードをクラフト室の棚に運び、返却する。(塗筆は水洗いし、使用した紙コップ、新聞紙はごみ箱に捨てる。)
- ②海洋クラフト室を清掃する。(机、床、流し等を掃除する。道具や机、いすをもとあった場所に戻す。)
- ③振り返り・まとめをし、指導者は研修生の評価をする。
- ④指導担当者は救護担当者に健康観察をさせ、異常がなければ解散する。
- ⑤カードスタンド作りの研修終了を交流の家へ報告するとともに、海洋クラフト室の鍵を事務室に返却する。

#### (8) 連絡先

一般電話番号

国立江田島青少年交流の家 Tel0823-42-0660